

深海バイオリソース提供事業

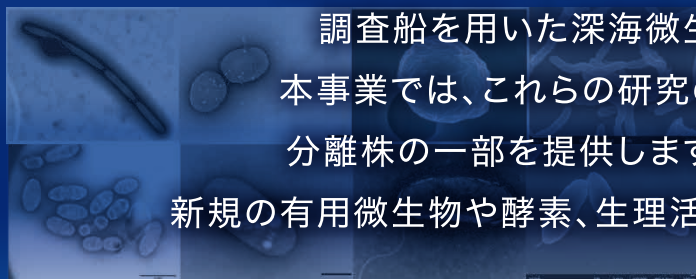
海洋研究開発機構 (JAMSTEC) では「しんかい6500」等の

調査船を用いた深海微生物の研究開発を行っています。

本事業では、これらの研究の過程で採取された深海堆積物や

分離株の一部を提供します。企業・大学・研究機関における、

新規の有用微生物や酵素、生理活性物質などの探索にご利用いただけます



事業の目的

深海バイオリソース

民間企業様
 大学・研究機関様

イノベーションの
 共創へ

日本領海及びEEZ内から
 採取したサンプルを提供

産業利用・学術利用の
 双方にご利用いただけます

深海微生物の
 産業利用を促進

権利関係

| | オリジナル | 複製物 | 改変物等 |
|-----|-------|-----|------|
| 所有権 | 機構 | 共有 | 利用者 |
| 知財権 | 利用者* | 利用者 | 利用者 |

※利用契約後に利用者によって創作した知的財産権に限る

費用 (税込)

| | 一般 | アカデミア |
|-------------|-----------------|-----------------|
| 分離源 堆積物* | 11,000円 | 5,500円 |
| 微生物 菌株 | 1株あたり 2,750円 | 1株あたり 2,750円 |

※1地点1バイアルあたりの金額

- ▶ 提供に際しては、約款を準備しています。
- ▶ ご相談に応じて提供前の秘密保持契約の締結なども柔軟に対応可能です。

● 問い合わせ先

国立研究開発法人海洋研究開発機構 海洋機能利用部門 生命理工学センター

〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町2-15 海洋研究開発機構 横須賀本部 本館4F

TEL:046-867-9707 E-mail:bioresource@jamstec.go.jp

公式HP▶



深海とは？



- 地球表面の約70%を占める海洋は、その大半が水深200mを超える「深海」です。
- 深海は暗黒・高圧・低温の世界でありながら、驚くほど様々な深海微生物が生息し、独自の生態系が作られていることが、JAMSTEC等の研究から徐々に分かっています。

(Nunoura et al., PNAS., (2015), Kubota et al., Front. Microbiol., (2016), Hiraoka et al., ISME J., (2020) など)

堆積物サンプリング

- 深海でのサンプリングには高度な技術や設備が必要なため、実施可能な機関は限られています。
- そのため、深海に生息する微生物を対象とした調査や研究はまだまだ発展途上であり、深海には広大な未開拓領域が広がっています。



提供可能なバイオリソース(順次拡充中)

酵母・その他真菌等



- 深海堆積物(凍結サンプル、約1,000種類)
サンプリング海域の例
 - ▶ 沿岸(相模湾、駿河湾の水深~1,000m)
 - ▶ 沖合(南海トラフ、水深~3,000m)
 - ▶ 超深海(日本海溝、伊豆・小笠原海溝、水深~8,000m) など
- 分離培養株
好気条件で分離培養された株を提供
 - ▶ 真核微生物株(約1,000株)
 - ▶ 細菌株(約3,500株)

JAMSTEC微生物資源の利用実績

化学メーカーのケイ・アイ化成様(静岡)と化粧品原料メーカーのビタミンC60バイオリサーチ様(VC60、東京)において、熱海沖で採取された海洋酵母が生成する新規カロテノイドを用い、美白やしわ抑制などの抗酸化作用の機能性を化粧品で実用化し2024年度の販売開始を目指して取り組んでいます。

